

独立開業

実務家インタビュー ①

山本 憲明さん

Noriaki Yamamoto

山本憲明税理士事務所
税理士

1970年生まれ。兵庫県出身。早稲田大学政治経済学部卒業。卒業後、横河電機に入社、5年間の技術畑勤務を経て経理部へ異動。2003年、税理士合格。2005年1月、独立開業。開業前からWebを活用し顧問先を拡大。

山本憲明さんの著書
(出版社インテックス・コミュニケーションズ)
「働きながら3年で! 税理士最短合格の時間術・勉強術」
「税理士絶対成功の開業術・営業術」



“ベースとなる税務業務から財務的アドバイスにシフト”

フル勤務ながら 4年で税理士5科目合格

高校3年の夏に部活を引退してから大学受験を始め、なんと11戦11勝。試験勉強が特技だと自負しています。とはいっても、学生時代に資格に縁があったわけではありません。大学卒業後、横河電機に勤務し、5年ほどして自らの進む道を模索し始めた私は、いろいろな道を探る中で自分の特技が受験勉強であることを思い出したのです。

そこで、自分が資格試験が得意、数字に強い、サラリーマンであるよりも独立開業したいという3点を考え、税理士を目指そうという結論に至りました。29歳で簿記3級からスタート、4年間で税理士5科目に合格できたのです。

資格取得の理由

「特技が試験勉強、数字に強い、独立開業したい」
以上3点で税理士になろうと思いました。

規模拡大より質の充実を目指す

税理士を目指そうと考えた私は、自ら希望して経理部に異動し、退職するまで決算短信や有価証券報告書等の財務諸表の作成、連結決算レポート、法人税・消費税・地方税の申告を担当しました。経理の仕事は受験にプラスになり、受験勉強は仕事上プラスになるという嬉しいシナジー効果が生まれました。

仕事を覚えるために会計事務所への転職も考えましたが、大手企業での安定的収入があったので、あまり前例のないパターンかもしれませんが、税理士登録をした年に横河電機を退社し、翌年34歳で独立開業することに決めました。

実際の独立時期を2005年1月と決めたのは開業半年前。その頃からホームページを自ら立ち上

げ、メルマガを配信し、セミナーに参加し、いろいろな方に会い、勉強して独立開業に向けて周到に準備を始めました。会計事務所の勤務経験がないので、年明けから先輩の事務所へも週1ペースで通い、確定申告等、税理士業務を営む上でのノウハウも学びました。結果、開業初月から売り上げ69万円を達成するという、順調な滑り出しとなったのです。開業3ヵ月で顧問数は13社となり、開業3年で、法人個人併せて約55社と成長することができました。

業務内容は基本的に月次顧問、税務申告等の税務業務中心ですが、これからの課題として財務的アドバイスなどコンサルティング業務にシフトしていきたいと考えています。

現在は会計士1名、税理士1名、スタッフ1名で48社の顧問先に対応しています。いたずらに規模を拡大するよりも、最小限のお客様に質の高いサービスを提供することで最大限にお役に立ちたいという考えの基に事務所を運営しております。まずはお客様にできるだけ自計化をしていただき、上ってきた数字を使って経営コンサルティングを行うことがメイン業務となるように、事務所の内外の質的充実を図っていきたいですね。

資格取得のメリット

基本的な税務業務だけでなく、財務的アドバイスができるのも税理士です。顧問契約によって安定収入を得られるのも魅力です。

社会経験を積みながら税理士として戦ってほしい

数ある資格の中でも、税理士は継続収入の多い、収益性の高い資格で、営営にとって必要な資格なので、今後需要があるはずです。

みなさんは、税理士という資格が本当に必要だと思うのであれば、まずは試験合格を第一目標としてください。目標とんやったほうがいいでしょう。試験とつい「忙しい」を言い訳にしていますが、逆に勉強だけに専念してしまってしまう可能性があります。合格するために必要な事をこなし、受験勉強の時間はきちんと努力が必要だと思います。科目合格制の税理士なので、少しずつ取れる資格なので、ぜひ実力をつけて、社会経験を積みつつ挑戦してほしいですね。

アドバイス

合格を第一目標に、目指すならとってください。科目合格制の税理士なので社会経験を積みながら目標達成を目指してほしいですね。

—TACの開業支援—

TACプロフェッションネットワーク

開業準備から開業後のサポートまで、様々なセミナーや講座を通じてノウハウを提供しております。山本さんのように営業スキルを習得したいという方もTACには様々なサポートがあるので安心です。

▶詳しくはP.50をご覧ください。